

特集 Under Construction "St-House"

秋田市郊外、国道7号線沿いの日本海を見下ろす小高い丘の上に建つ住宅です。厳しくも、恵まれたロケーションを最大限取り入れながら、クライアントの感覚や趣味に合致する、精神的・肉体的に安らぎのある空間の創出を目標に掲げました。

全体的にスクエアなフォルムを基調とし、愛車を収容するコンクリート打ち放しのガレージや、海を臨む広々としたデッキスペースが外観デザイン上の大きな特徴となっています。

RC+木造2階建ての中に、4つのレベルを持つスキップフロアを設定し、リビングは4.8メートルの天井高の吹抜け空間としています。クライアントの指向も強く反映しながら、快適で変化のある、暮らしを楽しむための空間を提案いたしました。

当面は独身男性の隠れ家的な住まいになりますが、将来的には新しい家族の変化に対応可能な、フレキシブルなプランでもあります。



海を望める丘の上に建設中。



全景。



コンクリート打ち放しのガレージつき。



屋上は防水フラットルーフ。



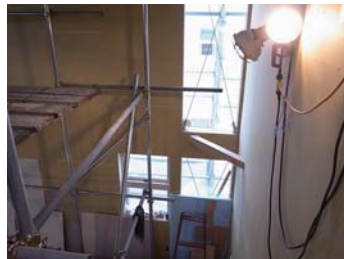
薪ストーブ用煙突。



木材の配色をチェック。



吹き付け塗装工事中。



吹抜けを見下ろす。



まもなく完成です。

お知らせ



□仙台市で建築家展に参加します。

ASJ 仙台青葉スタジオイベント
第24回未来をのぞく住宅展

クローバース・ピアワッセ 1F
仙台市青葉区北根黒松2-10
12/17(土) 11:00~17:30 入場無料
12/18(日) 10:00~17:30 入場無料

開催地、およびその近郊の方、是非お出でいただき、お声を掛けてください。

詳しくはこちらをご覧ください。

MEDIA



「建築知識」2011年12月号掲載
特集 ワンランク上の「住宅インテリア」完全ビジュアルガイド『主要な材料を網羅 木材マテリアルスクラップ』に掲載していただきました。
L型に囲う家(Kz-House)のリビングです。「建築知識」は一般の方にはご存知ないと思いますが、私たち建築関係者にとってはかなりメジャーな雑誌です。そういう意味では、たとえ小さな写真1枚だとしてもとても嬉しいですし、私にとっては価値あるものだと思っています。書店でお見かけの際は、写真を探してみてください。

スタッフの日常・非日常 vol.43



見たかったなあ。。



「MEMSAMMIT」会場に着いたものの、お目当ての建築が見当たらない。主催者のトステムの方に聞いてみる。
「ここにはないです。J……え？どこにあるんですか？
「遠い。歩いては行けません。行ったとしても入れません。」
…いやいや、ちょっと待って。そのために来たんだけど。ちょっと泣きそうになりました。しばしボーゼン。
もうSAMMITが始まる。終わったらまたすぐバスで5時間だし。トステムでは増が明かない。ここまで来たんだし。抜け出してでも見たい。待機のバスの運転手さんにそれとなく聞いてみる。あわよくば乗せてって。。
「歩いたら明日になるなあ」タクシー呼んでもらえば。無理だった。田舎なので路線バスもない。うーん無念。。

今月のマテリアル



室内物干「PID」(森田アルミ工業)

洗濯物を干すスペースは、新築でも大事な要素です。サンルームを設けたり、洗面脱衣室に物干をつけたり、吹抜けに吊るしたり、色々方法はあります。どうしてもスペースがない場合、ワイヤー式はどうでしょうか。必要な時だけワイヤーを出し、使わないときは邪魔になりません。何よりシンプルなフォルムがカッコいいです。リフォームにもお勧めです。

編集後記

みなさん、こんにちは。1年で最後の月、12月も1/3が過ぎようとしています。今年の始め、誰がこのような年になることを予想したでしょうか？豪雪の冬が終わろうとしていた何の予感も無い3月のある日、突然日本が変わった感じがします。自分の中でも空白の数ヶ月があり、あれから9ヶ月が過ぎようとしています。時間が経てば経つほど、事の重大さがますます増していくように感じています。さて、相変わらず自分もバタバタと動き回る毎日ですが、疲れ・寝不足・注意力低下には要注意ですね。昨日のこと、高速道路のパーキングで仮眠を取っていると何だか車が揺れてます。数秒後、はっと起きて外を見ると、自分が止めたはずの駐車枠が数十メートル前に。車がバックしています。慌ててブレーキを踏み事なきを得ましたが、ギヤがDに入ったままでした(汗)エンジンを切ってPに入れるのを忘れてました…危ない。たまたま後に他の車がなかったこと、端のガードレールまで距離があったことが幸運でした。大きな事故を起こす前に、「注意しろよ」というご先祖様の警鐘だったと思います。ありがとう。

来る2011年も、皆様にとりましてよいお年でありませうに。それでは次回もどうぞお楽しみに。

Web Site

- Home トップページ
- Profile プロフィール
- Concept コンセプト
- Service 業務案内
- Works 設計事例
- Conference 無料相談

ニュースレター
「建築家の日常・非日常」
発行責任者：加藤 一成

株式会社 加藤一成建築設計事務所

TEL. 022-739-8931 018-831-4315
FAX. 022-739-8932 018-831-4316
HP. http://www.issei-design.com/
BLOG. http://www.issei-design.com/blog/
MAIL. info@issei-design.com



今月の加藤一成
11月某日、ちょっとした記念写真。あつという間に過ぎ去る季節に翻弄されながら。